

研修の内容と進め方

項目（時間）	ツール	内容と進め方
<p style="text-align: center;">はじめに (5分)</p>	<p>P-1 [係長に期待される役割研修資料.ppt] 1ページ目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● この研修は新任係長の立場と役割を明確にすると共に、リーダーとしての役割を果たすために必要な能力や技術を高めていくことが目的である。 ● これから新任係長研修の概論として、係長に期待される役割と能力についてお話する。 ● 係長の役割はラインの係長やスタッフの係長などおかれている立場や仕事の性質によっても異なってくる。 ● 係長の中には部下が多く、管理に専念しなければならない人もいるであろうし、プレイングマネージャーで自分も仕事を受け持っている人もいるであろう。また担当係長など専門職の人もいるであろう。 ● ただ共通していることは、第一線のリーダーとして期待される役割を果たさなければならないことであろう。 ● どの企業も今、大きな変革期にある。また変化に伴い金融危機からどの企業も業績向上にまい進しなければならない。業務範囲が拡大するにつれて仕事も複雑になってきているし、仕事量も増えているであろう。 ● 係長の役割もそれにつれ、拡大、複雑化し、多様化してきていることは間違いない。 ● この変化を乗り切るため、係長としての自己革新が必要になってくるであろう。 ● 常に先を見て、積極的に組織を動かしていく係長が今ほど期待されている時はない。

項目（時間）	ツール	内容と進め方
		<ul style="list-style-type: none"> ● この会合では「これからの係長に期待される役割は何か」を明確すると共に「管理とは何か」、「その管理を推進するために必要な能力は何か」についてお話しする。 ● この会合は概論であるので「目標達成のマネジメント」や「部下の育成」などの各論についての講義は後の会合で行いたい。
係長の立場 （10分）	[係長に期待される役割研修配布テキスト]シート①	<ul style="list-style-type: none"> ● まず概論として係長の立場は何かを明らかにしておこう。係長はどのような立場に立たされるであろうか。 ● 係長は最小単位の目標達成（職務遂行）の責任者であると同時に一般社員と管理者をつなぐ立場にある。 ● 具体的にいうと、メンバーを直接、指揮し、指導し、リーダーシップを発揮して、一緒に目標達成を行う立場である。 ● 係という最小単位の責任者として、目標達成を果たしていくのである。 ● 部下（メンバー）を通じて、あるいは部下と共に目標を達成する立場にあるので部下の指導をしたり、援助したりすることも必要になる。 ● さらに上司（管理者）と一般社員との連結ピンを果たす立場にもあり、上下のパイプ役も果たさなければならない。 ● また二次的役割として課長の補佐役として課長に対し意見具申や情報の提供もしなければならない。
係長に期待される2つの役割 （15分）	P-2 P-3	<ul style="list-style-type: none"> ● ではこのような立場にある係長は具体的にどのような役割を果たさなければならないであろうか。重要な役割からあげてみよう。

新任係長に期待される役割

新任係長基本研修(概論)

はじめに(オリエンテーション)

1. この研修では概論として、新任係長に期待される役割と能力について、学んでいく。
2. 係長には専任もいるし、プレーイングマネージャーもいるし、専門職の立場にいる人もいる。
3. 立場の違いはあるが、初級のリーダーであることは共通するので、組織や管理の方法やどのような行動を期待されているかを理解しておく必要がある。
4. 時代によって、役割はどんどん変化していくので、それをつかんで、自己改革してほしい。

係長に期待される2つの役割

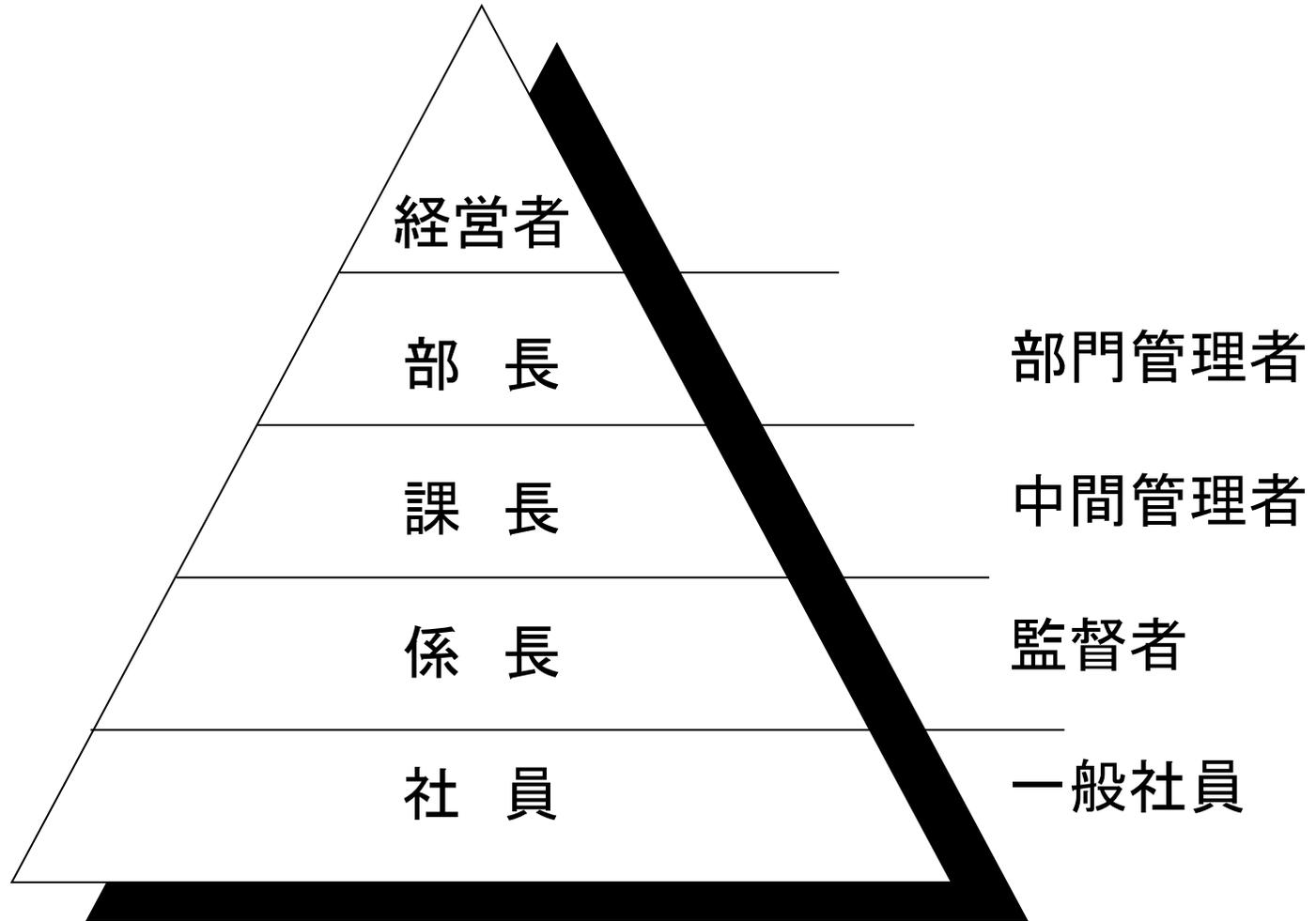
■係長の果たすべき2つの役割

- (1)組織や上司から期待される役割
- (2)設定された役割を、自ら、メンバーと共に果たす役割

■組織からの期待は何か

- (1)主体的な目標形成と課題形成
- (2)効率的な仕事の推進
- (3)コミュニケーションの促進
- (4)少数精鋭化、全員精鋭化

係長の立場



新任係長に期待される役割

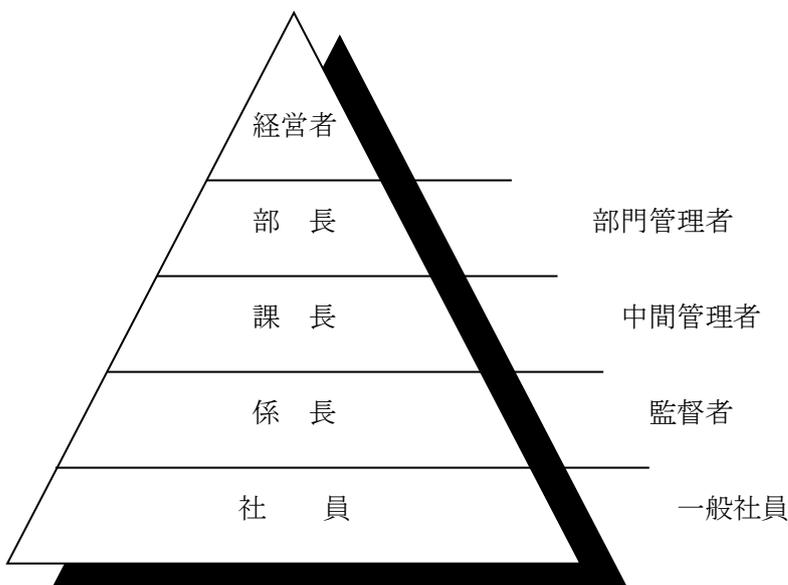
1. はじめに

バブル崩壊後はどの企業も、しばらく低迷状態が続いていたが、ようやく業績も上向きになり、設備投資面でも、明るい兆しがみえつつあった。しかし金融危機以降はアメリカのみならず各国の景気も不透明であり、中東やロシアを中心とする国際紛争もいまだ解決のめども立っていない。為替の変動もめまぐるしく、また国内では景気の低迷が長く続くことが予測されており、企業を取り巻く環境は予断を許さぬ状態にある。

言うまでもなく企業の目指すべき方向や置かれている状況やマネジメント体制が変われば、それに応じて第1線のリーダーであり、職務遂行者である係長の役割も変化していくはずである。また成果主義が浸透し、主体性、自主性が重視されればされるほど、自らの力で役割や目標を形成し、その達成に全力を投入していくことが必要になってくる。

2. 係長の立場

係長の立場は「係長が専任か」、「プレイングマネージャーか」、「担当の専門職か」によって、果たすべき役割は異なってくるが、組織上では次の立場に立つことになる。



(1) 一般社員（メンバー）を直接、指揮、指導し、リーダーシップを発揮して、目標達成し、職務遂行していく立場にある。

(2) 最小単位の責任者である。

(3) 自らの力で、あるいは部下を通じて、設定された目標を達成する人である。

(4) 上下左右のコミュニケーションをはかる人である。

(5) 意見具申や情報提供を通じて上司の補佐役を果たす人である。